

消防団



消防団は、地域防災の中核として火災をはじめ各種災害時に重要な役割を担っています。消防団員の献身的な活動と地域に根差した協力体制により、町民の安全が支えられています。今後も訓練等を通じ消防団との連携を強化し、地域防災力の向上に努めていきます。

危険物安全週間特別消防訓練

令和 7 年 5 月 28 日

於：山九株式会社四日市支店

北勢第 3 物流センター

消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震、風水害、火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平時には火災予防広報、防災指導等に従事し地域防災上重要な役割を果たしています。

令和7年中における主な活動として、火災件数8件のうち、6件の火災に消防団が出動し、延べ出動人員153人が活動しました。

その他にも、出初式や各種訓練、警戒、警備などに出動し地域の安全のため活躍しています。

菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
令和 2年 3月	消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
令和 6年 7月	三重県消防操法大会に千種分団が出場し、第3位入賞する。

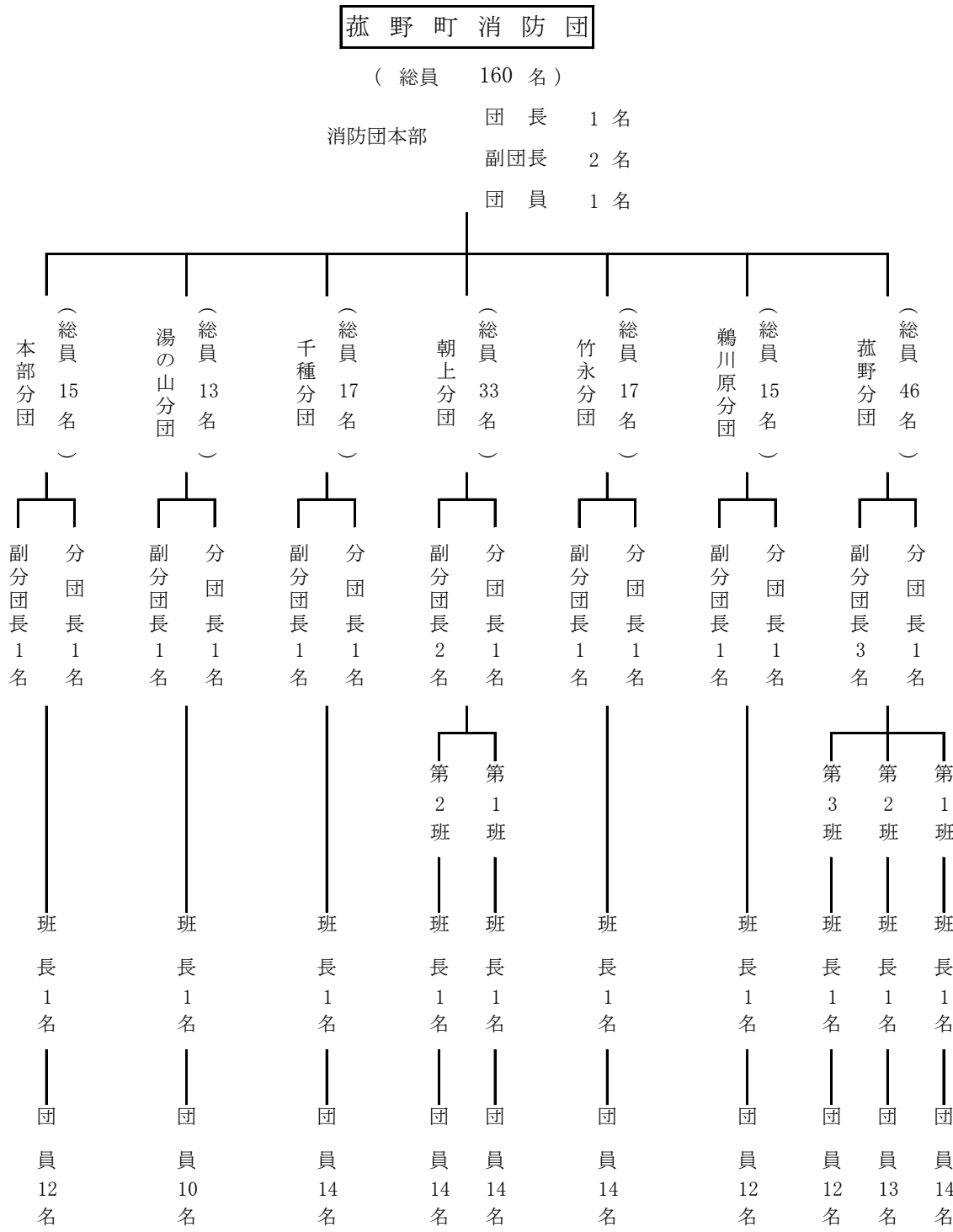
歴代消防団長(合併以降)

初代 服部 幸太郎	自 昭和32年 1月15日	至 昭和52年 4月 1日
二代 伊藤 正一	自 昭和52年 6月15日	至 昭和55年12月31日
三代 谷 善一	自 昭和56年 1月 1日	至 昭和58年12月31日
四代 辻 収	自 昭和59年 1月 1日	至 平成 7年 2月28日
五代 白木 一	自 平成 7年 3月 1日	至 平成17年 3月31日
六代 小林 幸治	自 平成17年 4月 1日	至 平成29年 3月31日
七代 増田 富雄	自 平成29年 4月 1日	至 平成29年11月21日
八代 服部 卓美	自 平成30年 1月 1日	現在に至る

消防団の機構、団員数

令和 8. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団（10班）
団員定数 168名
現有団員数 160名



年齢別、階級別消防団員数

令和 8. 4. 1現在

年齢 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
18歳～20歳						2	2
21歳～25歳						13	13
26歳～30歳						23	23
31歳～35歳				1	3	38	42
36歳～40歳			2	5	4	27	38
41歳～45歳			3	1	1	22	27
46歳～50歳			1	3	2	3	9
51歳～55歳			1				1
56歳～60歳		1				1	2
61歳～65歳		1				1	2
66歳以上	1						1
合 計	1	2	7	10	10	130	160

平均年齢 35.8 歳

在職年数別消防団員数

令和 8. 4. 1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	合 計
団 員 数	38	39	39	28	8	3	2	3	160

消防団員報酬

令和 8. 4. 1現在

階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員
年 間 報 酬 額 (円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

消防団員出動報酬

令和 8. 4. 1現在

項 目	災害出動	訓練	警戒	ポンプ点検	車両検査	立入検査	研修、会議 (町外で実施)
1 日 当 り の 報 酬 額 (円)	8,000	2,000	1,000	700	700	5,000	1,500 (3,000)

※災害出動については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

消防団員職業別構成数

令和 8. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	17	95	40	8	160

消防団消防車両配置状況

令和 8. 4. 1現在

区分 分団名	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免 許 区 分
菰野分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4, 770	4, 460	準中型
菰野分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2, 990	4, 730	準中型
菰野分団第3班	いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4, 770	4, 320	準中型
鵜 川 原 分 団	いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2, 990	4, 620	準中型
竹 永 分 団	日野	CD-I	三重830さ4047	R 4. 2. 10	4, 000	4, 750	準中型
朝上分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2, 990	4, 440	準中型
朝上分団第2班	いすゞ	CD-I	三重830す2506	R 7. 6. 25	2, 990	4, 980	準中型
千 種 分 団	いすゞ	CD-I	三重830さ2410	R 6. 10. 7	2, 990	4, 990	準中型
湯 の 山 分 団	いすゞ	CD-I	三重830な1212	R 5. 3. 13	2, 990	4, 950	準中型
本 部 分 団	いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2, 990	4, 900	準中型
団 本 部	日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2, 480	3, 220	普通
	トヨタ	付積	三重830な2002	R 2. 2. 21	2, 980	3, 160	普通
	日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1, 590	1, 735	普通

※付積＝小型動力ポンプ付積載車